

# カリキュラム・マネジメントと 関連付けた学校評価の改善

東部教育事務所 石川



# (1)カリキュラム・マネジメントについて②

## 学校経営

### 信頼される 学校づくり

働き方の「量」と「質」を考えた  
真に必要な教育活動の充実

- ・子どもの命・安全を守る教育活動
- ・子どもに力をつける教育活動
- ・法令等に基づく教育活動

#### 新学習指導要領の全面実施を見据えた 教育課程の編成・実施・評価・改善

##### 学校評価

○学校の重点目標に基づく評価項目の設定及び各教科等・必要科目や  
教育課程の状況など、カリキュラム・マネジメントと関連付けた  
評価の実施

##### キャリア教育

○年間指導計画の作成・見直しと、教科・領域間や学年間での関連  
を推進した取組の実施

##### 特別支援教育

○年間指導計画に基づく組織的、計画的、連携的な実施及び共同  
学習の実施

※児童が主体的に  
授業のある立場で参加している状況にあり、適切な働きかけを講じて誰もが人間  
性を伸ばせる、互いの学びを高められることとなります。

##### 体力向上

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用した、運動の楽しさ  
や喜びを味わわせる「体力向上プラン」の立案と組織的な取組

##### 学校保健・食育

○「学校保健計画」に基づく、全校の教職員を主体とした組織的  
な保健教育の実施・評価・改善

○栄養教諭・学校保健職員と連携した、食に関する「学年別年間  
指導計画」に基づく、組織的・計画的な取組の実施

##### 学校後附機関の連携

○幼児期の終わりまでに育ってほしい10の目標を踏まえたり、幼児  
園卒及び入学前年の教育課程の編成とそとのための幼小連携の推進

※「入学前の子どもの学び」をテーマにした幼小連携の  
取組（児童の成長、生活習慣や社会生活の理解等）のほか、児童が入学後の  
生活や、卒業後の進路に関する取組

○英語教育をはじめ、小中学校における各教科等の学びの連続性を  
推進した取組計画の編成とそとのための小中連携の推進

※学校間の連携、交流の場  
同一校舎の学校による連携や、学校間の交流の場での連携や、学校間の交流、  
学校の学びの共有等、オンラインを活用した取組

#### 家庭や地域社会との連携・協働

○グラントデザイン等を活用した学校の目標やビジョンの共有  
○各種教育活動における地域的人的・物的資源の積極的活用

※地域的人的・物的資源の活用  
・遠隔型オンラインの積極的な活用（オンライン授業、  
L2L授業、遠隔型、双方向型、協働型）等  
・市内の教士資格者の活用  
・児童福祉施設や上野江等との連携の推進、特別であるが町民館として利用（※）  
・地域の公民館等の活用  
・地域の企業等の活用（企業、産地、産地センター、公民館）等  
・遠隔や地域学習施設などにより、各地域の資源の活用

○「協力」から「協働」となるよう、学校評議員会及び学友会等協会の  
組織及び取組等の工夫、推進し

#### 学校安全・危機管理

○「学校安全計画」への職員研修の位置付けと実施による、学校  
全体での危機意識の向上

○危機的な状況がなるべく起こらないよう対応する活動（リスク  
マネジメント）と、発生の状況が発生した場合・発生した後の  
活動（クライシスマネジメント）に係るマニュアル等の作成と活用

※危機的状況  
自然災害（地震）によるアウトリーチ、感染症発生、火災、運動時の事故、不審者、  
大怪、盗難、食中毒の発生、校外での事故、交通事故、いじめ、暴力団・犯罪、個人間の  
トラブル、自然災害（地震、台風等）、いじめ、ネット上のトラブル、不審者、いじめ、  
児童虐待に関する取組の対応（※）

#### 校内研修の工夫・充実

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進と  
自校の課題の教育課題解決に向けた校内研修の計画的な実施

※研修の活用促進の場  
長年培った経験と知恵、活動デザイン等、活用（研修、合同研修、いじめ、他校間  
の人事研修の活用、研修に資する活動、授業実践の発表、授業研究会、授業研究会に  
資する研修）等  
【研修】の場として活用促進の場（研修）  
学校の組織や文化等の改善を目指す場は、当該学校の組織に即し、いじめの発生や  
その他の発生に関する取組の推進や他校との連携による場での研修に関する取組の  
場（必要に応じて他校との連携による研修）

○メンター研修やミニ研修等、○JIT研修を生かした組織体制の工夫

※メンター研修  
ミニ研修等の場は、メンター（研修や研修によってメンター）に指導を受け、指導的  
な役割を担うメンター（メンター）とメンター（メンター）との関係構築、指導体制、指導  
の場（メンター）とメンター（メンター）との関係構築、指導体制、指導の場（メンター）

# (1)カリキュラム・マネジメントについて③

## 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

(解説 総則編P4・5 改訂の基本方針④)

- ・学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のためには、**教科等横断的な学習**を充実することや、「**主体的・対話的で深い学び**」の実現に向けた**授業改善**を、**単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して行う。**

### はばプラⅡの活用

- ・上記の取組の実現のためには、学校全体として、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善を通して、教育活動の質を向上させ、**学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努める。**

**カリ・マネにより最も期待される効果は授業改善**

# (1)カリキュラム・マネジメントについて④

## カリキュラム・マネジメントの充実(解説 総則編P39)

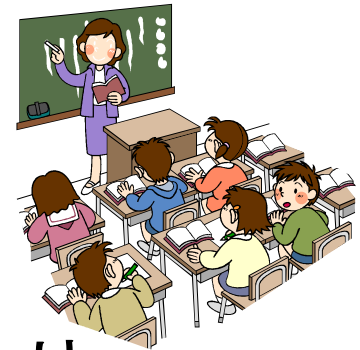
- ・児童や学校、地域の**実態を適切に把握し、**
  - ①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を**教科等横断的な視点**で組み立てていくこと
  - ②教育課程の実施状況を**評価**してその**改善**を図っていくこと
  - ③教育課程の実施に必要な**人的又は物的な体制を確保**するとともにその改善を図っていくことなどを通して、**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上**を図っていくこと。
- ・**教育課程はあらゆる教育活動を支える基盤**となるものであり、学校運営についても、教育課程に基づく教育活動をより効果的に実施していく観点から組織運営がなされなければならない。**カリキュラム・マネジメントは、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら組織的・計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと。**

# (1)カリキュラム・マネジメントについて⑤

教科担当の先生は...

3クラスを担当していれば、同じ内容の授業を3回行う。

2回目の授業を行うときには、  
1回目とまるきり同じ内容にはしない。



1回目の授業の反省を生かし、発問を代えたり、  
学習形態を工夫したり、適用問題を代えたりしている。

**カリキュラム・マネジメント**  
**主体的・対話的で深い学び**

# (1)カリキュラム・マネジメントについて⑥

## 主体的・対話的で深い学びの実現 (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

### 【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- ・ 「キャリア・パスポート(復称)」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び  
 対話的な学び

学びが人生や社会に  
 生かそうとする  
 学びに向かう力・  
 人間性の涵養

生きて働く  
 知識・技能の  
 習得

未知の状況にも  
 対応できる  
 思考力・判断力・表現力  
 等の育成



### 【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を観たり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- ・ あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- ・ 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通じて本の作者などとの対話を図る



### 【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「**見方・考え方**」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- ・ 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- ・ 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通じて集団としての考えを形成したりしていく
- ・ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

# (1)カリキュラム・マネジメントについて⑦

(主体的な学び) 学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら見通しをもつて粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

(対話的な学び) 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

(深い学び) 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、  
「活用」「発揮」 知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見い出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする。

知識を構造化し、高度化していくことで、  
使える知識にしていく



## (1)カリキュラム・マネジメントについて⑧

### 教科横断的なカリキュラム編成

- 各単元の意義をじっくり考え、相互に関連付けられ  
そうな単元を探し、線を結んだり、色分けしたり、  
表を作成したりして整理していく。
- 関連付けについての意識をもって実践を進め、そ  
の過程における気づきを書き残し、それを次の計  
画に反映させる。
- 年間指導計画や単元指導案集などを手元に置き、  
それに書き込む。

# (1)カリキュラム・マネジメントについて⑨

教科等横断的な視点で、教育目標に必要な内容を組織的に配列し、教育課程を編成・実施

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	...
学校行事	行事	行事	行事	行事	行事	行事	...
教科A	単元	単元	単元	単元	単元	単元	...
教科B	単元	単元	単元	単元	単元	単元	...
教科C	単元	単元	単元	単元	単元	単元	...
教科D	単元	単元	単元	単元	単元	単元	...
総合的な学習の時間	単元	単元	単元	単元	単元	単元	...
道徳	時間	時間	時間	時間	時間	時間	...
特別活動	活動	活動	活動	活動	活動	活動	...
地域等の人的・物的資源の活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	...

各教科等をつなげる

学校行事、各教科等を地域等の人的・物的資源とつなげる

伸ばしたい資質・能力でつなげていく

